

大切な記憶



Hansen's Disease Sanatoria
World Heritage Promotion Council

商品概要：長島愛生園歴史館蔵 陶製「十坪住宅貯金箱」リバイバル版
サイズ： 幅約 18cm× 奥行約 11cm× 高さ約 15cm
重さ： 約 1.6kg
※商品の特性上、焼き物の色合いは個々に異なります。焼き物の表情をお楽しみください。

商品の取り扱いについて：
われものですので、取り扱いに十分お気をつけください。
肌面がザラザラしているのでテーブルや棚などを傷つけないために、設置の際は敷物などを使うことをおすすめします。

Spetial Thanks：長島愛生園^{うちしらま}内白間窯会員、
中尾 伸治さん、板野 親斉さん、
三木 裕紀さん（Fab Lab Setouchi β）

企画： 瀬戸内市／NPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会
制作： 公益財団法人 寒風陶芸の里 寒風陶芸会館
制作協力：長島愛生園入所者自治会・長島愛生園歴史館

商品に関するお問合せ：
公益財団法人 寒風陶芸の里 寒風陶芸会館
〒701-4301 岡山県瀬戸内市牛窓町長浜 5092 番地
TEL：0869-34-5680 e-mail：info@sabukaze.com

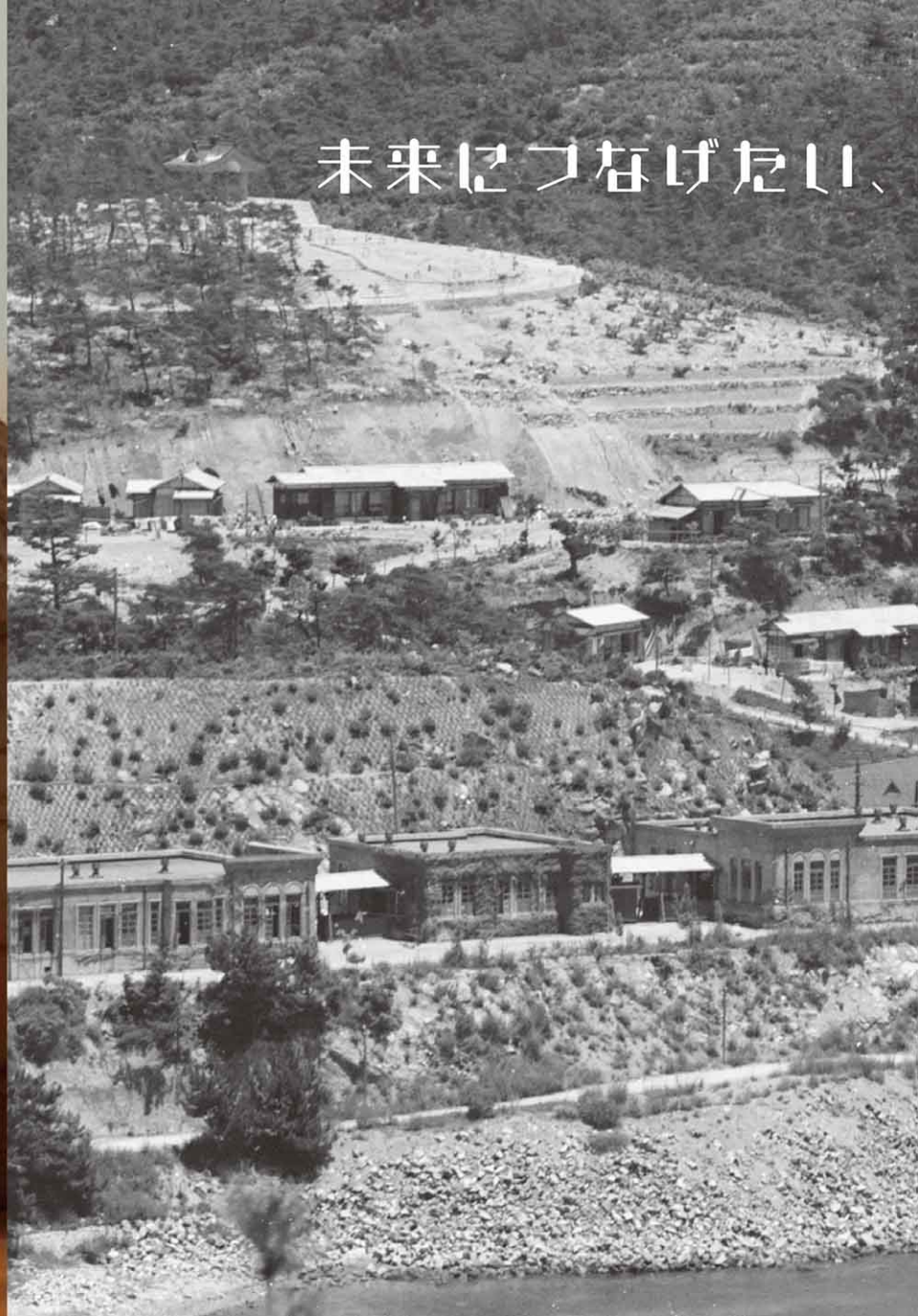
長島愛生園及び十坪住宅に関するお問い合わせ：
NPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会
〒701-4501 岡山県瀬戸内市邑久町虫明 6253 番地
（国立療養所邑久光明園旧入所者自治会館内）
TEL：0869-24-8872 e-mail：hansen-wh.jp@aioros.ocn.ne.jp



十坪住宅貯金箱



未来につなげたい、



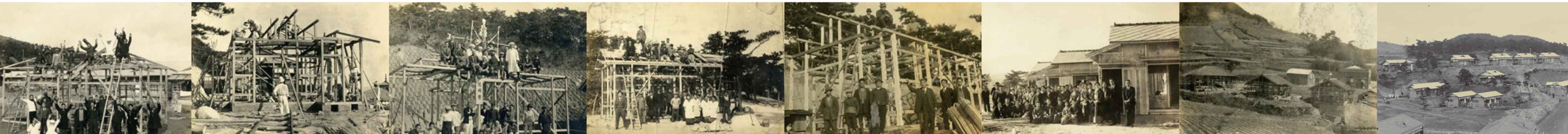
十坪住宅が並ぶ長島の風景（昭和 10 年代）



十坪住宅貯金箱

長島愛生園は1930（昭和5）年、日本初の国立ハンセン病療養所として開設されました。翌年、癩予防法が制定され、すべてのハンセン病患者を対象とした強制隔離政策が国策としてとられるようになってとともに、ハンセン病の感染力はいたずらに誇張され、全国から患者をなくす運動「無癩県運動」が繰り広げられました。その結果、定員を大幅に超過する多くのハンセン病患者が療養所に隔離され、療養所内の居住環境は劣悪を極めました。こうした状況を改善しようと始めたのが「十坪住宅運動」でした。これは住宅建築の資金を民間の寄附に頼り、長島愛生園入所者の手によって建築するというもので、150棟もの十坪住宅が建築されました。その内5棟は今でも残っています。

棟上げを終えた十坪住宅（昭和10年代）



この貯金箱は、十坪住宅建築第一号となった岡山県民からの寄附金「慈岡寮」を型取ったもので、長島愛生園の窯で焼かれたもの（愛生焼）です。長島愛生園参観人へのお土産や寄附者への記念品として使われ、寄附の呼びかけにも使用されました。

岡山県瀬戸内市は、療養所所在市としてハンセン病問題への正しい理解の普及啓発とハンセン病回復者の真の名誉回復を図る施策を行っています。その一つとしてこの十坪住宅貯金箱をふるさと納税返礼品として瀬戸内市民の手でリバイバルできないかという提案を受けました。NPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会と瀬戸内市長船町福岡を拠点に活動されている三木裕紀さん（瀬戸内市地域おこし協力隊OB／FabLab Setouchiβ運営）に相談したところ、貯金箱の型枠を作成し、瀬戸内市牛窓町の寒風陶芸会館（公益財団法人 寒風陶芸の里）で貯金箱のリバイバル版を制作することになりました。そしてこの型枠を作成する上で必要な作品を長島愛生園入所者で作陶活動が続けている内白間窯の会員が引き受けました。

私たち長島愛生園入所者と愛生園歴史館、瀬戸内市、そしてものづくりに携わる瀬戸内市民が心を込めて作り上げたこの貯金箱を通じてハンセン病療養所と療養所内での過酷な隔離政策を必死に生きてきた私たちの歴史を多くの皆さんに感じていただき、後世へと語り継いでもらえたらこの上ない喜びです。貯まったお金はあなた自身やパートナー、家族のために使ってください。最後に、この貯金箱を通じて長島愛生園に関心を持っていただき、この地に足を運んでいただけたら幸いです。私たちは皆さんを大歓迎いたします。

長島愛生園入所者自治会 会長／内白間窯会員

中尾伸治



作陶を通じて、長島愛生園の歴史を伝えたい。瀬戸内市民のそんなおもいが込められた貯金箱ができました。